

科目名	臨床病態学Ⅳ(産婦人科学) Clinical Pathophysiology and Therapeutics Ⅳ		担当教員 (研究室番号)	朝倉徹夫 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次 後期	科目 区分	専門支持科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	看護実践の基本となる婦人科疾患や周産期の管理や異常妊娠・分娩等についての概略を説明できる											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
	関連するDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。 (思考・判断)										
到達 目標	1. 良性婦人科疾患や悪性婦人科疾患の概略を説明できる 2. 性感染症の概略や予防法について概略を説明できる 3. 生殖医療についての概略を説明できる 4. 正常妊娠(含:分娩)や異常妊娠の概略を説明できる											
成績評価方法 (基準)	試験(100%± α)、授業への参加度(授業時の出席カードへのコメント内容(± α 分))											
再試験の有無と 基準等	再試験を実施する。筆記試験またはレポートとする。											
教科書												
参考書等												
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待	スライドを用いた授業を行う。授業への参加は必須。											
備考												
回	学習項目		学習内容					主担当 教員	授業 方法			
1回	産婦人科 1. 臨床的局所解剖学、発生学の理解		看護実践に必要な、局所解剖学、発生概念について論述する。					朝倉	講義			
2回	1. 臨床的局所解剖学、発生学の理解		看護実践に必要な、局所解剖学、発生概念について論述する。 (形態異常に伴う疾患を含む。)					朝倉	講義			
3回	2. 婦人科疾患の理解		婦人科疾患の病態について論述する。 (月経異常、不妊症、性感染症を含む。)					朝倉	講義			
4回	2. 婦人科疾患の理解		婦人科疾患の病態について論述する。 (婦人科良性疾患、更年期障害を含む。)					朝倉	講義			
5回	2. 婦人科疾患の理解		婦人科疾患の病態について論述する。 (主に婦人科悪性疾患、絨毛性疾患を含む。)					朝倉	講義			
6回	3. 正常妊娠、異常妊娠の理解		生殖生理の基礎から、正常妊娠、異常妊娠の病態から、管理法まで論述する。 (妊娠の発生から分娩までの経過を含む。)					朝倉	講義			
7回	3. 正常妊娠、異常妊娠の理解		生殖生理の基礎から、正常妊娠、異常妊娠の病態から、管理法まで論述する。 (正常妊娠の経過、分娩、産褥を含む。)					朝倉	講義			
8回	4. 正常分娩、異常分娩の理解		分娩の病態から管理まで論述する。 (異常妊娠の病態、分娩、産褥、新生児の見方を含む。)					朝倉	講義			

学 習 課 題

--

実務経験を活かした教育の取組

--